



い い の し ょ う が っ こ う

# 飯野小学校だより

がっこくもくひょう  
学校目標

すべての子どもたちに居場所をつくり、生きる意欲を育む

2025(令和7)年12月4日(木) No.19

## かくだいがっこうえいぎょうぎかい かいさい 拡大学校運営協議会を開催しました

11月25日(火)に令和7年度創徳  
中学校区拡大学校運営協議会を開催しま  
した。

創徳中学校と牧田、清和、飯野の各  
小学校の学校運営協議会の委員の方々  
が参加し、鈴鹿市教育委員会事務局教育  
支援課の加藤アドバイザーを講師に招き、  
『各校がめざす鈴鹿型コミュニティ・スクー  
ル』と題して講演をしていただきました。

講演の主な内容は、以下になります。



- 「鈴鹿型」とは、鈴鹿市の各学校や地域の状況に応じて、臨機応変に活動できるようにしている。学校、地域、保護者が力を合わせて、地域とともにある学校に転換するための仕組みである。
- 鈴鹿市の場合、平成16年度から「学びのネットワーク」(学習ボランティア)と「安全安心のネットワーク」(見回りパトロール)を進め、地域ぐるみの教育環境づくりを進めてきた。
- 平成23年の鈴鹿市教育振興計画に「地域ぐるみの教育の推進」が組み込まれ、市内すべての学校をコミュニティ・スクールに指定している。
- どんな子どもを育てていくのか、どんな学校、地域にしていくのかなど、めざす姿を共有し、一緒になって活動していく。学校の実態や地域の特色を生かして、多様性を大切にする。さらに、子どもの教育をどのような町づくりに繋げていくのかまで発展させられることが望まれている。
- 「支援型」(ボランティア)から「連携型」(サポーター)へ移行してきた。子どもの教育課題を共有、協議し、具体的な改善に取り組む。現在は、「協働型」(パートナー)を目指している。
- 「協働型」にするためには、誰もが理解しやすい共通の目標を設定する必要がある。多様な地域資源(ヒト、モノ、コト)を積極的に活用するとともに、育てたい子ども像や目指すべきビジョンを熟議する。